

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	個別に過ごせるスペースがあるともっと良いと思う。 1 居室が一部屋しかないというのは特性のある子ども達が過ごすには適切ではない。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		マンツーマン対応を推しているのであれば適切だと思う。 法人役員より利用児の割りに職員数が多いとの指摘あり。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		ライン共有を実施して、情報伝達の共有化を図っている。 ワンフロアしかないがバリアフリーの環境は整っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	「和楽」3Fという事はあるが、子どもの人数とのバランスはとれた空間となっている。改善すべき点、ワンルームなのでパーティションやテント等で個室を作り、クールダウンの部屋としたり、利用児に合わせた環境を作る。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		朝礼や週1回の会議、月1回の職員会議などで、業務改善への意見集約を図っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		保護者アンケートを適宜実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		法人の「宝島」HPで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	第三者による外部評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	職場内研修や研修会参加報告で日々の業務への質の向上に努めている。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		保護者からの、聞き取りを丁寧に行い計画書へ活かせるように配慮している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		実施している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		コロナ禍で実施しづらさがあるが、ある程度人数や回数を抑えて実施している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		計画を意識し、日々支援に努めている。

支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		必要に応じ会議などで話し合いプログラムの充実を図っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		曜日により活動を変え、活動内容が固定化されないよう配慮している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	8		ワンルームの為、個別活動は難しいが、少人数に分けるなどして活動を工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		朝礼などで担当利用児や役割を決め、職員間で確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	決められた打ち合わせは無いが、職員間の会話の中で振り返りをし共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		日々のケースを記入し記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		定期的なモニタリング会議を実施し目標の振り返りを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		コロナ禍で制限されることはあるが、出来るだけ実施している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		モニタリング会議やケース会議を特定相談員が開催し必要な関係機関との連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		対象児の利用が無い。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	1	対象児の利用が無い。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		コロナ禍で制限される事もあるが、出来るだけ共有を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		移行の際に特定相談員に関係機関を招集してもらい、情報共有を図るようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		助言をもらったり、研修の機会がもっとあれば良いと思う。同一法人の児童発達支援センターと連携したり助言合同研修を実施している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	コロナ禍でもあり実施していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		自立支援協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		送迎時連絡帳の活用、保護者通園日を適宜行い共通理解に努めている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8		同一法人の児童発達支援センターが委託を受けペアレントプログラムを開催しているため、講師派遣と保護者参加している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		児発管より入所時に説明を実施している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		特定相談員の計画書を参考に保護者ニーズを元に支援計画を作成し、保護者に同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		連絡帳や電話でのやりとりが多いが、保護者支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	父母会はない。保護者同士が関わる場面は保護者参観日の時しかない。保護者参観日を月1回開催し保護者同士が交流できるようにしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		連絡帳の活用、宝島たよりにて報告などを行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		月1回園だよりを配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		契約時に個人情報の同意書を取り、注意をしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		写真やイラストなどを活用し実施している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	コロナ禍で実施していない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		毎月避難訓練を行っている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		確認し、周知に努めている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		おやつ提供時に確認し、配慮している。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		ヒヤリハットを作成し、職員間で課題・解決策を考えている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		研修会などを行い対応している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		対象児がいないが、適切に対応する体制を整えている。